

## 第32回

(通算3578回) 例会  
令和6年3月28日  
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

### クラブフォーラム「国際奉仕」 どうなる産業構造・多文化の必要性

国際奉仕委員会 担当



2023-24 RI テーマ・世界に希望を生み出そう

3月 水と衛生月間



福井 敬会長

近藤 眞  
R情報・研修委員長

井上 泰宏  
国際奉仕委員長

縣 政行 会員

#### 会長挨拶

福井 敬 会長

今の日本では人手不足が慢性化しており、その対策として、外国人人材の雇用が挙げられます。厚生労働省は、人手不足解消のために今の「外国人技能実習制度」を廃止し、「育成就労制度」を施行する予定です。これは、未熟練労働者として受け入れた外国人人材を3年間で育成し、即戦力となる「特定技能」に移行させる制度です。

そうなる問題になるのは、外国人との共生です。ロータリーも提唱しているダイバーシティをいかに生かしていくかが重要になります。しかし、日本人は集団主義的で「みんなと一緒に」が好きと言われてます。そんな中で本当にダイバーシティな社会が築けるのでしょうか。

ダイバーシティな社会になるためのヒントになるかもしれない一編の詩があります。金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」という詩です。この詩には「みんなちがって、みんないい」とありますが、人は当たり前前に違って生まれ、違うからそれぞれが存在することができるのです。つまり「誰もが生まれただけで百点満点」ということではないのでしょうか。この詩の中で一番大切なのは「鈴と、小鳥と、それから私」の部分で、「私」が最後になっているところです。つまり「私とあなた」ではなく「あなたと私」になった時に初めて自分優先ではなく「みんなちがって、みんないい」という、まなざしが生まれるのではないのでしょうか。私達は、生まれた時には何もできず、何も知らなかったのにも関わらず、知っていることが増えると、できない人や知らない人を差別しがちになります。

私もつい他人と自分を比べて優劣をつけたくなくなってしまいますが、皆さん一人一人が、本日のフォーラムでの意見を聞き、少しでも「みんなちがって、みんないい」という考え方ができるようになれば、ダイバーシティな社会が少しずつできてくるのではないかと思います。本日のフォーラムを楽しみにしています。

#### フォーラム主催者挨拶

近藤 眞 R情報・研修委員長

今年度は会長の活動方針に基づいて、参加型のクラブフォーラムを目指しています。参加型とは、発言することのみならず、積極的に聞くことも含まれます。「聞く」とは、単に耳で聞くだけでなく、発表者の表情を目で見て、気持ちを心で感じる「傾聴」をすることです。これにより参加意識が高まると思います。

社会奉仕は地域社会に向けた奉仕活動ですが、国際奉仕は奉仕するエリアを世界に広がっています。非日常的なエリアを対象としており、各クラブの特徴が出る奉仕活動です。また、奉仕活動のエリアが世界中に広がることから、その地域で生活する人々に対して、その地域で奉仕するとともに、その地域及び日本の産業現場で行う活動も国際奉仕となります。

本日はフォーラム終了時に「傾聴した」と言えるように、積極的に聞いてください。

#### フォーラムリーダー趣旨説明

井上 泰宏 国際奉仕委員長

企業の人手不足問題は年々深刻化しています。人材が確保できないと仕事が回せず、人材を確保するための人件費が負担となったりと、厳しい状況の企業が増えてしまいます。少子化や高齢化で人材獲得競争が加速する中、外国人労働者は、事業を支える大きな力となるため、受け入れの拡大が必要となるでしょう。

本日のフォーラムは、多様な文化の背景を持つ外国人との共生をどの様に構築し、グローバルな視野や感覚を身につけられているのかについて、4名の方にお話を聞かせていただきたいと思います。

#### 発言

森田 通夫 会員



豊橋RCが行っているタイの事業のテーマは「山岳民族の定住化と農村開発」です。事業は水を引くことから始めましたが、定住化には収入が必要になるため、収入の得られる

ゴムの樹を植えていきました。この農業で生き抜く山岳民族の人達の大変さについては、NHKで放映していただいたこともあります。

農村開発について、始めは各地域の特産物を育てる指導を行っていましたが、15年程前から土壌の診断運動を始めました。京都大学の土壌学の先生の寄付や、グローバル補助金を利用して土壌診断機を十数台寄付しました。その後、土壌診断について個人に教えるのではなく、地域の指導者を育成しました。指導者には選ばれた方は、役目をもらったことで顔つきが明るくなり、やる気に満ちていました。地区のリーダーが育ったことで、土壌診断運動はタイの各地に広がり、今では1994カ所で行われました。

始めはお米を作りましたが、肥料過多で虫が集まり、農薬を撒くことで収量が少なくなっていました。しかし、正確な土壌診断を行うことで、収量が上がり農薬が減り、支出が減ることで農家が豊かになっていきました。この様な健全な農業の振興に我がクラブは地区補助金等を活用しながら貢献しています。

#### 発言

松井 孝悦 会員



製造業として私の会社は、ベトナムから毎年10名の実習生に来てもらっており、常に会社には30名のベトナム人が働いています。15年続いていることもあり、ベトナム人がベトナム人に教えるという流れも出ています。

私達が利用している「外国人技能実習生制度」は来月から「育成就労制度」に変わります。具体的に、就労一年を超えると転籍が可能になり、住居や会社を選べるようになります。また3年経っても国に帰らなくてよくなり、特定技能2級を取得すれば日本での永住権を得ることができます。これにより制度が変わった4月以降は、外国人が激増していくと思います。

豊橋市の浅井市長は「多くの外国人が住む街として、国籍に関わらず暮らしやすく、就労しやすい環境をいち早く整え、外国人材が集い、地域社会を支える一員として活躍する先駆的な多文化共生のモデル都市を目指す」と宣言されています。豊橋市の人口は2014年は37万8000人で、2024年は36万8000人と減っていますが、外国人の数は8千人増えています。実際に外国人はどんどん増えており、もし外国人が来ていなければ更に人口が減っていたというのが現実です。現在は豊橋市の外国人人口は2万8000人なので、20人に1人は外国人ということになります。このような背景もあり、国際交流協会としては、相談窓口の多言語化等様々な事業を展開しています。

これから日本に来る外国人は会社や住む場所を選ぶことができます。そういった時に市や街としてどうするか、企業としてどういった対策をとっていくかが重要だと思います。

#### 発言

足田 涼 会員



我々の業界の中には「歯科技工士」という入れ歯や矯正の装置を作る職種があります。歯科技工士は国家資格が必要になりますが、収入が低めで労働時間も長いので、人数が減ってきています。国の政策により女性の歯科技工士は少しずつ増えていますが、若いうちに辞めてしまう方が多くなっています。豊橋市の歯科医院は約80件、歯科技工所は約60件あります。歯科医院の数はおそらく減らないでしょうが、歯科技工所は一人で開業されている所が多いため、数が減っていき、歯科医院の必要としている制作物の納期が伸びてしまいます。

この問題に対応できるのはデジタル化です。実際に歯科の中でデジタル化はかなり進んでいますが、機材を用意するだけでかなりの金額になるため、中規模の歯科技工所が機材を大量に導入して、そこで人材を育成しているというのが現状です。しかし、デジタルだけで全てできる訳ではありません。歯科医院での型取りや模型作り、加工はデジタル化されていますが、最終加工は人の手で行わなければいけないため、アナログな部分の技術を上げることが日本の歯科技工士の中で急務となっています。また、海外へデジタルデータの処理を委託することも始まっています。

歯科技工士の学校の中では外国人教育がはじまっていますが、外国人の方はビザの問題で日本で歯科技工士として働くことができません。しかし、今後対応されるため、それに先駆けて海外の学校や歯科技工所との姉妹提携や業務提携を結び、海外との繋がりを作り、可能な限り省力化していきながら質の良いものを作る取り組みを行っています。

#### 発言

小林 大悟 会員



帝国データバンクによると、正社員の不足は50%、非正規雇用は31%で、2社に1社は人手不足になっており、外国人の雇用は必要不可欠となっています。これは、年々生まれてくる子どもの数が減っていることや、働き方改革で長時間ができないこと、若者の労働時間に対する考えの変化、農業や建設業等の人を支える職業の低賃金等の問題によるものです。

外国人の方を雇用することで、若い方を確保できます。また、彼らは賃金や職場環境等の労働条件を重視してくれます。更に積極的な面では企業の海外進出の助けになります。外国人の方からすると日本は魅力的な労働環境ではなくなっていますが、それでも安全であり、働きやすいという点で、まだまだ人気があります。しかし、1980年から1990年代ほど求められる環境ではないことは確かです。だからこそ積極的に打って出られたらどうかと思います。



「外国人技能実習制度」は本来教育のために国際協力の一環として設けられたもので、外国人の方に日本で様々な技能を習得し、国に帰って役に立ってもらうためのものです。しかし、教育という建前があるため、様々な制約がありました。これが4月から「育成就労制度」に変わります。ただ全く違う制度になるのかというと、人の流れやお金の流れについては大きく変わるものではありません。

制度は変わってきますが、トラブルを避けるために、生活面を出来るだけサポートすることや、賃金や留資格や就労場所についてのフォローをしていくことが大切になると思います。更に、弁護士への相談として、人間関係や言葉の壁、逃亡というものがあるため、気をつけていただきたいと思います。

### アドバイザー講評

縣政行会員

建設業や、製造業等では多くの外国人労働者を雇用しています。日本で働いている外国人労働者は200万人を超え、愛知県は東京都に次いで2番目に外国人労働者が多い県となっています。

豊橋では約2万人の外国人が暮らしていますが、日常の様々な場面で、身近なところに外国の方が暮らしているのだと実感することが多くあります。実際に私共の事業所の隣は、アフガニスタン出身の方の事業所です。そこには10ヵ国程の方が働いており、異国を感じる事が多々あります。

先ほど松井会員の話にもありましたが、外国人に選ばれる街になるために、外国人が居て当たり前な街になればと思います。今後も外国人を労働者としてではなく、地元で暮らす市民として、共に暮らしやすい街作りを目指していきたいです。そのためには、社会奉仕と国際奉仕を組み合わせる事業を行うことが重要だと思います。

しかし、海外へ行って国際貢献を行うことも国際奉仕の事業として大切なので、そのことも頭に入れていただき、これからまた新たな国際奉仕の在り方を考えていただきたいと思います。

### フォーラムリーダーお礼の挨拶 井上 泰宏 国際奉仕委員長

本日は4名の方にお話をさせていただきましたが、現状外国人の方に関する様々なハードルがあります。行政には外国人の働く環境を整えていただき、我々は外国人の方と助け合って、共に栄えることの必要性を本日のフォーラムで考えさせられました。

### まとめの言葉

近藤 眞 R情報・研修委員長

皆さま、本日は耳で聞き、目で見て、心で感じる「傾聴」ができましたでしょうか。

外国人労働者の方は日本に稼ぐことを目的に来ているため、長時間労働と失踪の問題については経営者として気をつけていただきたいと思います。

### ニコニコBOX

宮田 正人 ニコニコ委員

- 井上国際奉仕委員長、フォーラムを楽しみにしております 福井 敬 会長、伊藤 晴康 幹事
- 本日、国際奉仕のクラブ・フォーラムを主催させていただきました 近藤 眞 R情報・研修委員長
- 本日、国際奉仕委員会最後の例会フォーラムを開催させていただきます。あとは、世界大会に福井会長はじめ2名の方をお連れし、無事帰還すれば国際奉仕委員長の大役から解放されます。皆様の友愛に感謝します。本日はよろしくお願いたします 井上 泰宏 国際奉仕委員長
- 井上国際奉仕委員長、クラブ・フォーラムのご盛會おめでとうございます、楽しみにしております 松坂 良太、井口 貴嗣、植村 忠慶、笠原 元樹 各会員
- 米山奨学生のニョンジョ君が日東電工豊橋事業所の技術系から大阪本社の経営系の部署に栄転しました。昨日お祝いの会をしました 宮田 正人 会員
- 去る3月15日市内線で100周年記念ラッピング車両の運行を開始しました。阪急みたくも言われていますが、往年の「豊鉄カラー」を懐かしんでいただけると幸いです 小笠原 敏彦 会員
- 豊橋鉄道さん創業100周年おめでとうございます。発車式で挨拶させていただきました。テープカットをフライングしてしまいごめんなさい 高須 博久 会員
- 中国・広州に海外赴任していた夫が5年の任期を終え帰国しました。夫婦二人暮らしで仲良くやっています 宮本 順子 会員 (順不同)

### 本日のビジター

豊橋北RC 2名  
豊橋南RC 2名 計 4名

### 会長報告

福井 敬 会長

1. 豊川RCより、IM開催のお礼状が届いています。
2. ロータリー誌が届いています。

### 歌

ソングリーダー 松井 孝悦 会員



「春の小川」

### 誕生祝い



縣政行会員  
(S.32年3月23日生)

### 出席報告

中村 典司 出席委員

当日出席者 61名 計算会員数 87名中26名欠席  
総会員数 110名 出席率 70.11%

### 例会予定

- 4月4日(木)卓話「ロータリーの公共イメージの重要性」
- 4月11日(木)卓話「心のバリアフリー～障がいを超える前向きな生き方」